

# エコワークス株式会社

項目	内容
1.企業情報	<ul style="list-style-type: none"><li>● 業種：建設業</li><li>● 事業概要：木造注文住宅の新築を本業とし年間約60棟を供給。ZEHビルダー評価制度で5つ星の認定を受けZEHの設計を得意とする。</li><li>● 事業規模[任意]：売上29億円、拠点数14拠点（モデルハウス等含む）、従業員数 80人</li></ul>
2.削減目標案	<p>&lt;Scope 1・2の削減目標と削減に向けた取り組み&gt; 目標：1.5度目標に合わせて2050年に実質ゼロに向けて、2030年に2017年比45%削減を目指す。 取り組み：Scope2の電力については全てRE100（再エネ100%）をできるだけ早期に目指す。具体的には再エネ電力メニューの検討、FIT切れの太陽光発電の自家消費、車両のEV化等を推進する。</p> <p>&lt;Scope 3の削減目標と削減に向けた取り組み&gt; 取り組み：Scope3カテゴリ11において、ZEH、LCCM住宅等の低炭素住宅を提供することで、居住段階の排出量削減に寄与する。</p>

# エコワークス株式会社

項目	内容							
3.基準年のGHGインベントリ[数値は任意]	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Scope 1・2・3の排出量の状況</li> </ul> <p>A pie chart illustrating the distribution of GHG emissions between Scope 1 and Scope 2. The chart is divided into two segments: a larger blue segment representing Scope 1 at 63%, and a smaller orange segment representing Scope 2 at 37%. A legend to the right of the chart identifies the blue color with 'スコープ1' and the orange color with 'スコープ2'.</p> <table border="1"> <caption>GHG Emissions Distribution</caption> <thead> <tr> <th>Scope</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スコープ1 (Scope 1)</td> <td>63%</td> </tr> <tr> <td>スコープ2 (Scope 2)</td> <td>37%</td> </tr> </tbody> </table>	Scope	Percentage	スコープ1 (Scope 1)	63%	スコープ2 (Scope 2)	37%	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SCOPE1 : 143.3 [tCO2] (任意)</li> <li>● SCOPE2 : 85.0 [tCO2] (任意)</li> <li>● SCOPE3 : [tCO2] (任意) 目標の対象セクター :</li> </ul>
Scope	Percentage							
スコープ1 (Scope 1)	63%							
スコープ2 (Scope 2)	37%							

# エコワークス株式会社

項目	内容
<p>4.気候変動によるリスクと機会の分析</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 当社の顧客はエシカルに関心が高い層であり、気候変動対策への積極的な姿勢が必要。CO2削減に積極的な姿勢をきちんと示すことで対象顧客へのアプローチとなる。</li> <li>● CSV戦略として世界的な要求に応じたビジネス展開をする必要があり、気候変動への対策は必要不可欠と考えている。</li> <li>● CO2削減対策は、カーボン・プライシングが導入された時のリスクへの低減となる。</li> <li>● 今後の燃料費等の外部環境はコストアップの可能性があり、RE100（再エネ100%化）することで経営上のリスク低減および企業価値の向上につながる。</li> </ul>
<p>5.削減目標設定の背景・目的・期待する効果など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 野心的な目標を持つことで、中小企業に脱炭素への取り組みを波及させていくようなリーダーシップをとっていきたい。</li> <li>● SBT水準の削減目標を持つことをZEH推進協議会にも展開して、業界の模範として推進していきたい。</li> </ul>

# エコワークス株式会社

項目	内容
6.目標設定のプロセスと社内の議論	<ul style="list-style-type: none"><li>● 目標の実現可能性について役員会で意見があったが、1.5度目標特別報告書が公表される中で、2050年の脱炭素社会を実現するためにバックキャストで目標を設定するという経営方針を説明し、全役員 の理解を得た。</li></ul>
7.今後の課題	<ul style="list-style-type: none"><li>● 事業成長とともに排出量の絶対量を減らすことが必要であり、Scope1の削減に課題を感じている。</li><li>● Scope1の大部分を占める営業車のガソリン使用による排出量を減らすため、車両のEV化や脱炭素電源のインフラ整備など転換のコスト負担が大きい。</li></ul>